

東際寺たより 46号 春彼岸号

住職挨拶

新型コロナウイルスが初めて確認されてから3年が経ちます。昨今の今頃は蔓延防止法が適用されておりましたが5月には季節性インフルエンザと同じ第5類に引き下げられ、実際感染者数も落ち着いてきたことは皆様にとってとても喜ばしいことでもあります。その一方で葬儀を取り巻く環境は大きく変わり、これまでは通夜に多くの方が集まっておりましたがご家族だけの1日葬が大変多くなりました。コロナが明ける本年からはお寺の行事も通常通りに近づけていきたいと思っております。

大木の焼却作業の実施



一昨年に伐採した大木の丸太が墓地裏に残っておりましたがこの度、三役の方にご尽力を頂き全て焼却することが出来ました。一般のチェーンソーでは歯が立たない大変大きな丸太でしたが小澤秀章様がユンボを出して頂いたおかげで何とか3回に分けて作業することで全て完了出来ました。お寒い時期にありがとうございました。

東際寺からのお知らせ

○4月8日花祭り：ご祈祷11時 甘茶の接待10時～12時

食事会に関しては飲食を伴うことから本年も安全を期して中止と致しましたがお参りは可能と致しますのでお散歩がてら甘茶を飲みにお出掛け頂ければと思います。

仏教講話会のチケット限定10枚無料配布（先着順）のお知らせ

6月21日（水）13時半開演 会場：小田原市三の丸大ホール（小田原市川東仏教会主催）

小田原市川東仏教会 主催
第4回 仏教講話会 特別講演会
法話 ストレスをのりこえる
仏教の教え
講師 榎野俊明師
プログラム
* 津軽三味線 小森高正氏
* 柳家三三師匠
* 落語 榎野俊明師
令和5年6月21日（水）午後13時30分開演
会場：小田原三の丸大ホール
入場料：前売2,000円（当日2,500円）

私も所属する小田原市川東仏教会の主催で6月21日（水）に新しくなった小田原市三の丸大ホールにて仏教講話会が開催されます。メイン講師にはニューズウィーク日本版「世界が尊敬する日本人100選」にも選出され曹洞宗僧侶だけでなく庭園デザイナーとして世界で活躍されている榎野俊明師をお迎え致します。著書も多数執筆されており1つのお寺ではなかなかお招きすることが出来ない非常にお勧めの講師と言えます。当日は「ストレスをのりこえる仏教の教え」をテーマにお話頂きます。その他、津軽三味線の演奏や柳家三三師匠の落語もごさいます。学びあり笑いありの貴重な機会になるかと思っておりますので是非足を運んで頂ければと思います。

チケットご希望の方は住職にお声かけ下さい。（1家庭2枚までとさせていただきます）

消防団活動勤続10年表彰



先日、消防団の勤続10年の表彰を頂き現在は会計班長を務めております。月に2回の夜警とは別に春・秋・歳末の火災予防週間や火災での出動、水利点検、操法訓練など多岐にわたる活動も日常生活の一部となり今年で11年目となりました。近年は外にお勤めの方や外からの流入者が多くなり、団員の確保も難しくなっております。何かと煩わしいことも多くありますが地域の安全を守ることは勿論のこと、他業種の方と一緒に活動することは視野を広げるためにも有益なことであると感じます。実際、お寺のトイレが水漏れした際も伊勢原から直ぐに駆けつけて頂いたりといざという時に助けてもらえるのは有難いものです。

禅語紹介：明珠在掌（みょうじゅたなごころにあり）



明珠とは透明で曇りのない珠玉（宝石）のことですが禅では「仏性」、「仏心」を意味しております。白隠禅師座禅和讃の冒頭にも「衆生本来仏なり」と書かれており我々には本来お釈迦さまと同じ仏様の心が備わっています。しかし、我々はあれが無いこれが無いと幸せを外にばかり求めてしまいます。だれでも「明珠」つまり仏の心を持って生まれているのだから、自ら気づいてそれを磨けば、きっと明るい輝きを放つというのがこの禅語です。仏様は笑顔で優しいお顔をされております。我々も笑顔で優しい言葉で接する「和顔愛語」を実践していきましょう。

臨濟宗有志寺院主催：「吉縁会」のご紹介（過去9年結婚した人数1500名超）



先日、岸田首相も「異次元の少子化対策」に挑戦していく旨を表明しておりましたが現在の少子高齢化は日本の様々な分野で大きな問題となっております。お寺にとっても家の継承者不在による檀家数の減少に直結する大きな問題であります。そのような状況でお寺としても何か出来ないかということで9年前に静岡で発足し、お寺による安心感や成婚費がかからないことから大変好評となっております。お寺で仏教文化を体験しながら、気軽に出会いの輪を広げて頂ければと思います。詳細は「吉縁会」で検索頂きホームページをご覧ください。

物価高が続いております。お布施はご無理の無い範囲で全く問題ありません。